

社会保険の保険者番号 要点簡単まとめ (社保・国保対応)



※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年3月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

社会保険の保険者番号とは？その定義と役割

社会保険の保険者番号とは、国民健康保険や企業が加入する健康保険を運営する組織（保険者）に対して割り振られた固有の識別番号のことです。この番号は、健康保険の運営主体、つまり保険者が誰であることを示すものであり、個々の従業員（被保険者）を特定するものではありません。したがって、社会保険の保険者番号は、主に健康保険制度に特化した番号であり、厚生年金保険や雇用保険といった他の社会保険制度に関連する番号とは区別されます。

保険者番号の確認方法

通常、保険者番号は健康保険証の下部に記載されています。

健康保険証には様々な数字が記載されているため、どれが保険者番号であるか迷うことがあるかもしれません。一般的には、「保険者番号」という項目名とともに6桁または8桁の数字が記載されています。保険証によっては、他の番号（例えば、被保険者整理番号や記号）と並んで記載されている場合もあるため、注意が必要です。

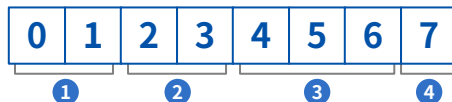
保険者番号の構成と意味

社会保険の保険者番号は、6桁または8桁の数字で構成されています。一般的に、6桁の番号は国民健康保険に割り振られています。一方、8桁の番号は、社会保険（健康保険）、退職者医療制度、後期高齢者医療制度に用いられます。

8桁の構成

社会保険

8桁の保険者番号（社会保険）は、以下のルールに基づいて構成されています。



① 法別番号 ② 都道府県番号 ③ 保険者別番号 ④ 検証番号

8桁の構成

社会保険

法別番号（2桁）

被保険者が加入している公的医療保険の種類を示す2桁の数字です。例えば、全国健康保険協会（協会けんぽ）の場合は「01」、健康保険組合の場合は「06」といった番号が用いられます。

都道府県番号（2桁）

保険者が所在する都道府県を表す2桁の数字です。

保険者別番号（3桁）

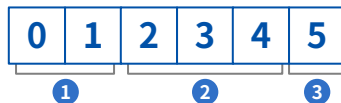
各保険者に対して個別に割り振られた3桁の数字です。

検証番号（1桁）

保険者番号の誤りを検証するために用いられるチェック用の1桁の数字です。

6桁の構成

国民健康保険



① 都道府県番号 ② 保険者別番号 ③ 検証番号 ※法別番号「なし」

国民健康保険の保険者番号は6桁で構成されており、社会保険のような法別番号は含まれていません。これは、国民健康保険が各市区町村という特定の運営主体によって運営されているためです。

保険者番号の構成を理解することで、人事労務担当者は従業員の持つ保険証に記載された番号から、その従業員が加入している健康保険の種類（例えば、協会けんぽなのか、健康保険組合なのか）をある程度推測することができます。